

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: キンサーL-G-10液
化学品の英語名称	: KINSAL G-10 SOLUTION
供給者の会社名称	: 日興製薬株式会社
住所	: 岐阜県羽島市上中町一色467-1
電話番号	: 058-398-2576 信頼性保証部
ファクシミリ番号	: 058-398-5863
推奨用途	: 手指・皮膚の消毒 手術部位(手術野)の皮膚の消毒 手術部位(手術野)の粘膜の消毒 皮膚・粘膜の創傷部位の消毒 医療機器の消毒 手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	
健康に対する有害性	: 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A

上記のGHS分類で区分の記載がない項目については、「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」に該当する。

GHSラベル要素
絵表示

注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 強い眼刺激

注意書き

安全対策	: 取扱い後は手をよく洗うこと。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
応急措置	: 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。
他の危険有害性	: 情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物
慣用名又は別名	: アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩消毒液
成分及び濃度又は濃度範囲	

混合物の成分 (化学名又は一般名)	濃度 (v/v%)	官報公示整理番号	CAS番号
アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩	10	9-134 (化審法) 1-215 (化審法)	6843-97-6 18205-85-1

4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 呼吸に関する症状が出た場合:医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	: 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の	: 情報なし

最も重要な徴候症状
応急措置をする者の保護
医師に対する特別な注意事項

: 救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。
: 情報なし

5. 火災時の措置

消火剤 : 散水、粉末消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤 : なし
特有の危険有害性 : 情報なし
特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
延焼の恐れのないよう水スプレーで周囲のタンク、建物等の冷却をする。
消火を行う者の保護 : 消火活動は、可能な限り風上から行い有毒なガスの吸入を避ける。
消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置 : 漏出防止、除害などの作業は、必ず、保護具(保護手袋、保護眼鏡)を着用する。
環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川などに排出され、環境への影響を起さないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 土砂等の不燃物で囲い流出を防止し、スコップまたは吸引機等で空容器に回収する。
回収後の少量の残留物は、土砂またはおがくず等に吸収させ回収する。
残留物が極少量の場合は、ウエス等で拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策 : 作業場の換気を十分に行い、保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用し、
直接の接触を防ぐ。
安全取扱い注意事項 : 取扱後はよく手、顔などをよく洗いうがいをする。
屋外又は換気の良い場所で使用すること。
環境への放出を避けること。
接触回避 : 強酸化剤との接触は避ける。
保管
安全な保管条件 : 通気の良い場所で密栓保管する。
35℃以下で保管することが望ましい。
安全な容器包装材料 : 製品使用容器に準ずる。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : 未設定
許容濃度 : 未設定
日本産衛学会 : 未設定
ACGIH : 未設定
設備対策 : 蒸気、粉塵またはヒューム、ミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
保護具
呼吸用保護具 : 通常の作業の場合は特に必要なし
手の保護具 : 不浸透性保護手袋を着用する。
眼の保護具 : 保護眼鏡/保護面を着用する。
皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護具(不浸透性保護衣、保護靴等)を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体
色 : 帯黄色澄明で、寒冷時にわずかに混濁することがある
臭い : 僅かに特異なおいがある
融点/凝固点 : 0℃以下
沸点又は初留点及び沸点範囲 : 100℃
可燃性 : データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし
引火点 : 引火しない
自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし
pH : 約8
動粘性率 : データなし
溶解度 : 水に溶ける
n-オクタノール/水分配係数 : データなし
蒸気圧 : データなし
密度及び/又は相対密度 : 比重20℃ 約1.013
相対ガス密度 : データなし
粒子特性 : 非該当

10. 安定性及び反応性

反応性	: 情報なし
化学的安定性	: 通常の取扱い条件においては、光、熱、衝撃に対して化学的に安定。
危険有害反応可能性	: 強酸化剤と反応する。
避けるべき条件	: 混触危険物質との接触
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	: LD50=2930mg/kg(ラット)(40%液)であり、区分外とした。
経皮	: データ不足のため分類できない。
吸入:ガス	: データ不足のため分類できない。
吸入:蒸気	: データ不足のため分類できない。
吸入:粉じん及びミスト	: データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	: 無刺激性(モルモット)(有効成分5%水溶液)P.II=0 であり、区分外とした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 中程度の刺激性(ウサギ)(有効成分1%水溶液)であり、区分2Aとした。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	: 呼吸器感受性: データなし 皮膚感受性: 感受性なし(モルモット)(OECD法)であり、区分外とした。
生殖細胞変異原性	: データ不足のため分類できない。
発がん性	: 産業衛生学会において本品の構成成分は、発がん性物質としてリストアップされていない。また、IARCのGroup 1～2Bにリストアップされていない為、区分外とした。
生殖毒性	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	: データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期(急性)	: データ不足のため分類できない。
水生環境有害性 長期(慢性)	: データ不足のため分類できない。
残留性・分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が 付着している汚染容器及び包装の 安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、 又はリサイクルに関する情報	: 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
--	---

14. 輸送上の注意

国際規制	: 該当しない
国内規制	: 該当しない
特別安全対策	: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。

15. 適用法令

消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
危険物船舶運送及び貯蔵規則	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法	: 非該当

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関してはいかなる

保証をするものではありません。また、新しい知見及び試験等により内容が変更されることがあります。
なお、注意事項は通常の実用を対象にしたものなので、特別な取扱いをする場合には、新たに用法・用途に適した安全対策を実施のうえ御使用ください。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。